

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## KUMONの取り組むSDGs

SDGsレポート 2022年1月～2024年4月



# KUMON

## 「教育で世界を変える」

私たちKUMONは、

個人別教育による人材の育成を通じ、地球社会に貢献すること、  
さらにはその先にある世界平和に貢献することを目指しています。

地球上の誰一人取り残すことなく、持続可能でよりよい世界を実現するために、国連は2015年9月、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択し、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」を掲げました。

# KUMONに関連が強い2つの目標



だれもが公平に、  
良い教育を受けられるように、  
また一生に渡って  
学習できる機会を広めよう



世界のすべての人が  
みんなで協力しあい、  
目標を達成しよう



SDGsの4番目のゴール、「質の高い教育をみんなに」は、KUMONは創立当初から意識して取り組んでまいりました。

KUMONの事業としての発祥は、創始者である公文公が、ひとりでも多くの子どもに公文式教育を届けたいと1955年に大阪に開いた教室です。1974年にアメリカ・ニューヨークで算数・数学教室を開いたのが海外展開の第一歩目で、1970年代にはブラジルや台湾、ドイツで教室を開設し、現在は60を超える国と地域に展開しています。



## 株式会社公文教育研究会

代表取締役社長： 田中 三教

所在地： 〒532-8511 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 公文教育会館

創立： 1958年7月

従業員数(2023年3月現在)： KUMONグループ全体 3,734人

普及地域(2023年12月現在)： 世界62の国と地域(日本含む)

学習者数(2023年12月現在)： 352万(日本132万、海外220万)

公文式教室(2023年3月現在)： 23,700(日本15,400、海外8,300)



しかし、KUMON単独では多くの方々に学習の機会を提供するのには限界があります。JICAやJETROなどの支援や協力を受けて、NGO組織などと協働することでより多くの学習の機会の提供を目指しています。さらに、収益の一部をつかって、貧困層の子どもたちにも公文式学習を届けていく活動にも取り組んでいます。

これからも世界中の多くの方々と共に手を携えながら、SDGsの達成に貢献できるよう、そして公文式教育を通じて社会の課題解決にグローバルに貢献できるよう、邁進してまいります。



# SDGsにゆかりの深い有識者のお声

## 国連広報センター所長 根本かおるさん

KUMONのように教育関係の企業に関連があるのが、目標4「質の高い教育をみんなに」です。  
私が道を切り拓いて進んでこられたのは、やはり質の高い教育を受ける機会があったからで、教育は子どもたちの将来を大きく変えるものだと感じます。女の子が12年間質の高い教育を受けることにより3300兆円もの経済効果も生まれるという試算もあります。教育は人権や社会政策だけでなく経済政策でもあるのです。  
(「KUMON now!」2019年6月7日公開記事より抜粋)



## 広島大学教育開発国際協力研究センター長 吉田和浩さん

日本が自然や、人と人同士、また他国も含めてどのように関わって生活してきたか、日本が大切にしているものが、SDGsが求めているものと親和性が高いとか共鳴するものもたくさんあるのです。自分たちが誇りを持っているけど当然のものと見なしていたことを、SDGsを機に見直し、発信してみるのもいいと思います。  
公文公さんが何十年前におっしゃったメッセージは今も輝いています。国連憲章のように70数年前に作られたものも、全然さびついてないけど実現もしていないという部分もあります。社会が変われば解釈や実現の仕方も、変わっていくはずです。  
(「KUMON now!」2021年11月26日公開記事より抜粋)



## 元・国際連合日本政府代表部大使 星野俊也さん

SDGsの実践における企業の役割というのは非常に大きくて、その意味でKUMONによるSDGsの取り組みは嬉しく思いますし、これからもどんどん発展させていく必要があります。  
特にSDGsの目標4、教育はそれ自体が重要であるとともに、ほかのすべてのゴールにも影響するような、分野横断的なゴールだと思います。そこに直接関わっているKUMONの取り組みはますます重要になってくると思います。  
(「KUMON now!」2023年2月28日公開記事より抜粋)



# KUMON SDGs Topics

(2022.01~2024.04)

## パキスタン・イスラム共和国に 公文式教室開設 (2022.04)



パキスタン・イスラム共和国の第二の都市、ラホールに公文式教室が誕生しました。指導者のラピア先生は、子どもたちに公文式で学びの機会を提供することこそが母国への貢献になると考え、教室を開設しました。「子どもたちには自信を身につけ、何事にも積極的に取り組めるようになって欲しい。そして自分の得た恩恵を地域社会に還元できる人になって欲しい」と語っています。

## チェコ共和国に公文式教室開設 (2022.05)



チェコ共和国の首都、プラハに公文式教室が誕生しました。法科大学院卒のシティ先生は、子ども時代学習障害があり数学に苦労した経験があります。世の中には自分と似たような子どもがたくさんいる、と公文式教室を開設。「生徒の長所と短所の両方を使って、どのように可能性を最大限に引き出すことができるか?それが私の目標でありビジョンです」と語っています。

## バングラデシュにおけるストリートチルドレンの 養護施設での学習支援 (2023.02)



バングラデシュにおける貧困層の子どもたちに対する学習支援の実現の第一歩として、ストリートチルドレンの養護施設であるエクマトラアカデミーへ公文式学習プログラムを導入しています。この導入の知見を活かし、更に多くの子どもたちに対する学習提供を目指します。

## ウガンダ共和国の遺児の支援施設で 学習機会を提供 (2023.06)



一般財団法人あしなが育英会との協働のもと、NGOあしながウガンダが運営する「あしながウガンダレインボーハウス」で公文式学習を導入し、貧困等により小学校に通えない遺児に学習機会を提供。あしなが育英会職員、現地職員の皆様と連携しながら、基礎学力とともに子どもたちの意欲や自信を高めることを目指しています。

## ネパールの公立・私立小学校に 公文式学習を導入 (2024.04)



IGC Business Holding Pvt. Ltd.と協働し、ネパール国内の小学校3校において、タブレットを用いた公文式学習を開始しました。IGCは今後国内の多くの学校への公文式導入を目指し、得られた収益を恵まれない子どもたちが通う学校への公文式導入費用の一部として支援する予定です。パートナーと共にネパールのより多くの子どもたちに質の高い教育を提供していくことを目指して参ります。

## Collective Impact による 【食べる×学べる=Live Well】の実現 (2023.05)



一般財団法人デロイト トーマツ ウェルビーイング財団(DTWB)が展開する『子どもを未来につなげる奨学助成プログラム』において、こども食堂に公文式学習を導入。DTWB—こども食堂—KUMON三者の強みをかけ合わせ、【食べる】と【学べる】を融合させることで、困難を抱える子どもがより良く生きることを応援しています。

## 社会は「遊ぶ」で体感できる!『お笑い芸人と学ぶ SDGs ババぬきカードゲーム』刊行 (2022.04)



くもん出版では、お笑い芸人たかまつななさんが考えた、楽しくSDGsを学ぶカードゲームを刊行。誰でも知っているババぬきのルールで遊びながら、SDGsを知り、世界が抱えている課題を体感できるカードゲームです。SDGsの17の目標を、さまざまなアクションを交えながら体感し、深い学びにつなげます。

## WWFジャパンの森林保全活動への 支援を通じて紺綬褒章を受章 (2022.08)



インドネシアにおける、自然と共生する社会を目指した活動を支援するなどの功績が認められての受章となりました。KUMONはこれからも自らの環境負荷の削減に努めるとともに、外部パートナーとともに森林資源を守る活動を推進し、地球環境の保全と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

発行元・お問い合わせ先: 公文教育研究会 広報部 広報チーム

〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18 京急第1ビル12F koho@kumon.co.jp

